



□ ようこそ新入生の皆さん

□ 学部学生の無人開館利用申請は年度単位です

無人開館時(原則として平日20時以降)に図書館を利用する場合は、毎年、利用申請が必要です。有人開館時間帯に図書館カウンターで手続きをおこなってください

□ 私のお薦め本 第1回

藤尾図書館長が『まんが 医学の歴史』と『キラリ看護』を紹介します

□ 図書館の催し物

ようこそ新入生の皆さん

図書館長 藤尾 均

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本学図書館長の藤尾です。皆さんが本学で充実した生活を送られるよう切に願っています。むろん、図書館もその一助となるよう全力を尽くします。いうまでもなく大学図書館の基本的な使命は、学生・教職員の勉学・研究のニーズに叶った書籍・雑誌を提供すること、そして、快適な勉学環境を提供することにあります。本学では他大学に先駆け、学生・教職員の皆さんに図書館を365日24時間開放してきました。図書の閲覧・貸出には最大限の便宜を図っていますが、読みたい図書が棚に並んでいない場合も少なくないと思います。そんな時には、購入希望図書を所定の用紙に記入して職員に提出してください。希望はかなりの確率で叶えられるはずですが、本年度からは、電子書籍の購入も開始します。

地域医療に貢献する有為な人材を育成するという本学の教育目標に鑑み、図書館では、数年前から地域医療書コーナーを開設し、充実を図ってきました。そして新たに本年2月には、病気と向き合う患者さんやその家族が執筆した図書を集めた闘病記コーナーを開設しました。未来の医療従事者として、これらの本にも親しんでください。

図書館ではここ数年、ほかにも、年間を通して多くの**ミニイベント**を企画・実施しています。まずは医学・医療関係の古文書の展示です。昨年夏のオープンキャンパスの機会に、中学・高校の教科書にも載っている『解体新書』などの現物を御覧になった新入生の方も多いと思います。今年は、古文書展示を、いちだんとパワーアップして展開します。差し当たり、初夏には、16世紀にラテン語で書かれた図入り外科学書の現物を展示する予定です。

サイエンスカフェも企画しています。昨年は、生体肝移植など先進医療に取り組んでこられた外科学講座の古川教授、多くの診療科との連携のもと、リハビリの概念を一新してこられたリハビリテーション科の大田教授、常に20以上の異なる研究テーマを持ち同時並行的に研究を進めてこられた内科学講座の長谷部教授をお招きし、専門領域を超えた鼎談(ていだん)を実現しました(写真左下)。学生からは、先生方の、授業では見られない一面に触れられたと好評でした。その模様は「北海道新聞」にも写真入りで掲載されました。



他にもいろいろなイベントを企画しています。新入生の皆さんも、図書館にふさわしいと思われるイベント企画がありましたら、是非お寄せください。大抵のことは実現するはずですが、そこが、小回りのきく単科大学の良さです。最後に、新入生の皆さんの学生生活が**実り豊か**なものとなるよう、重ねて祈念します。



